

大会宣言

全国福祉保育労働組合第20回定期全国大会は、平和と民主主義、憲法に対するかつてない攻撃が激化し、社会福祉構造改革が最終段階を迎えている情勢の下で開催された。小泉内閣は国民世論を無視し、嘘とごまかしの年金改悪、有事関連法案、憲法違反の多国籍軍への自衛隊参加を強行した。合衆国政府高官の憲法第9条改定発言と自民党・民主党による憲法改定日程など平和憲法に対する重大な挑戦が続いている。教育基本法の改悪策動も危険な局面を迎えている。

大企業が過去最高の収益をあげる一方、国民は、失業、倒産、賃金切り下げ、長時間・過密労働、自殺増加に直面している。職場では、正規雇用が大幅に減少し、不安定雇用の激増で、いまや3人に1人が非正規労働者となっている。

プロ野球界再編に異議を唱える選手会に対し、巨人軍・渡辺前オーナーの『無礼な事を言うな、たかが選手が』といった発言は、労働者蔑視を証明している。選手会によるストライキ決行は、労働者・国民の共感を勝ち得た。

福祉保育労はこの一年、国政と地方政治の民主的転換、4・15年金ストをはじめとする年金改悪反対闘争、社会福祉の制度破壊攻撃とのたたかい、イラク戦争反対のとりくみ、賃金引上げと能力給導入阻止のとりくみ、不安定雇用労働者の均等待遇、雇用を守るたたかいや組織の拡大・強化など、労働者・国民との対話と共同を広げながら、全力をあげて闘い、新たな前進と地歩を築いてきた。

大会では、職場や地域のたたかいを基礎に、組織を拡大・強化し、労働組合つぶしの攻撃をはね返し、雇用と生活・権利、平和と民主主義のたたかいに、福祉労働者の要求を束ね、その実現に向けて大きく運動をすすめる意気高い決意が次々と報告された。

能力給導入による労働環境の破壊を体験し、『福祉職場に絶対に持ち込ませてはいけない』と訴えた仲間。過半数組合を実現して要求の前進を勝ち取った仲間。株式会社立の保育園で不当な雇い止めを撤回させて職場復帰し自治体の制度改善をも勝ち取った仲間。公立保育所民営化阻止に向け自治体労組との共同を前進させた仲間。公的責任を投げ捨てる指定管理者制度へのとりくみを始めた仲間。臨職パートの要求は、自分たちで勝ち取ると、臨職パート部会を立ち上げてたたかっている仲間。青年を中心に平和のとりくみを広げた仲間。

さらに、職場をめぐる情勢が厳しいからこそ労働組合を結成し、雇用と賃金・労働条件、働く権利を守り、たたかった数々のドラマが報告され、前進する福祉保育労の姿が生き生きと描き出された。地域労連との協力で相談活動にとりくみ大会を増勢で迎えた仲間。分会の再建で組織拡大を前進させた仲間。県評の全面的なてこ入れで3倍増をめざす仲間。組織拡大強化基金の活用で新たな専従配置に踏み出し、組織拡大の前進を誓う仲間。全労連オルグの配置で空白克服に挑戦する仲間。

憲法を守り生かす戦後史をかけた国民大闘争を最重点課題とし、『組織拡大強化3カ年計画』推進で2万人福祉保育労の建設、「憲法を守り、くらしの安心を支える福祉を！11・23共同集会・シンポ」の成功のため、『5つの共同』を大きく広げ、すべての組合員が職場・地域から全力をあげて闘い抜くことが確認された。

福祉保育労は、節目の第20回大会を成功させた。私たちは決定した運動方針に基づき、全ての組合員、地本・支部、分会が力をあわせ、全力をあげて奮闘する。

以上、宣言する。

2004年9月20日

全国福祉保育労働組合第20回定期全国大会